

平成 30 年度 DPC 調査参加病院向け Hファイル入力支援ソフト セットアップマニュアル

本紙は、Windows7 環境にて、Hファイル入力支援ソフトをセットアップする際に参照するマニュアルです。

以下の内容は、作業前に必ず確認してください

【注意事項】

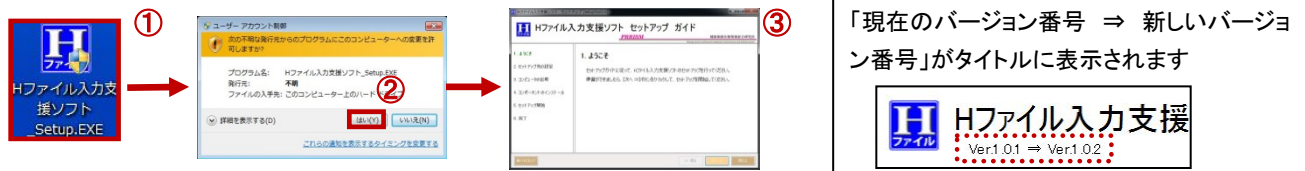
- ① 必ずコンピュータの管理者権限を持つユーザーで作業を行ってください。
- ② インストールできない場合は、他のPCでのインストールおよび運用をお勧めいたします。
- ③ 当ソフトは院内の環境設定などにより、動作しない場合があります。完全に動作保証するものではありませんのでご了承ください。
- ④ セットアップ作業には、十分な作業時間を確保したうえで、行ってください。
なお、セットアップ時間については、コンピュータのスペックや環境によって異なります。
- ⑤ 他のシステムやアプリケーションは、作業が完了するまで起動しないでください。
起動している場合は、すべて終了させてから作業を開始してください。

1. Hファイル入力支援ソフトのセットアップを行う

【注意】

Hファイル入力支援ソフトのバージョンアップを行う際は、後述する「データファイルのバックアップを行う」を参照のうえ、データファイルのバックアップを事前に行ってください。

(1) Hファイル入力支援ソフト セットアップガイドを起動する

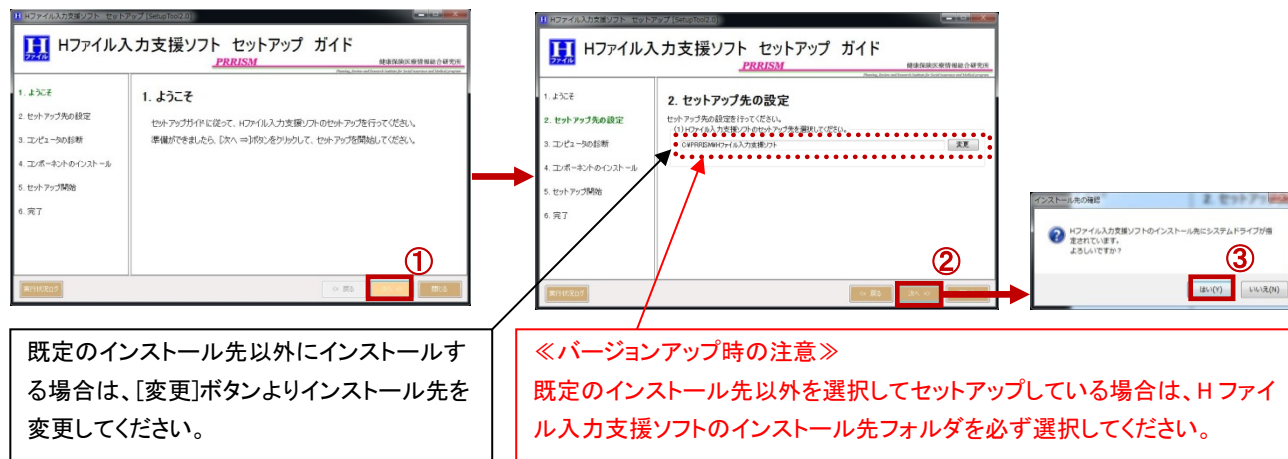


- ① ダウンロードした「Hファイル入力支援ソフト.Setup.EXE」をダブルクリックします。
- ② ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
- ③ Hファイル入力支援ソフト セットアップガイドが起動します。

(2) Hファイル入力支援ソフトのセットアップを開始します

【注意】

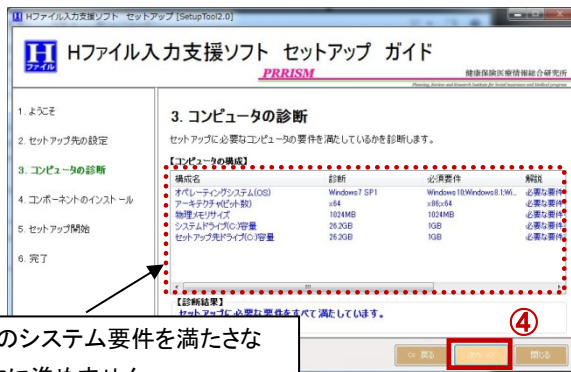
Windows8.1、Windows10にてセットアップを行う場合、.Net Framework3.5 インストール画面が表示される場合があります。.Net Framework3.5 インストール画面が表示されたら後述する「.Net Framework3.5 をインストールする」の手順を行ったうえで、引き続きセットアップを行ってください。なお、.Net Framework3.5 インストール画面が表示されない場合は.Net Framework3.5 のインストールは完了しています。



- ① ようこそ画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
- ② [次へ]ボタンをクリックします。
- ③ システムドライブと同じドライブを選択した際には、確認メッセージが表示されますので [はい]ボタンをクリックします。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



すべてのシステム要件を満たさないと、次に進めません。

《必須要件》

- (1)OS : Windows7、Windows8.1、Windows10 【推奨】
- (2)アーキテクチャ(ビット数) : x64、x86
- (3)物理メモリサイズ : 1GB 以上
- (4)システムドライブの空容量 : 1GB 以上 【推奨】
(512MB 以下は、不可)
- (5)セットアップ先ドライブの空容量 : 1GB 以上 【推奨】
(512MB 以下は、不可)

④コンピュータの診断画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

【コンピュータの診断について】

【コンピュータの構成】			
構成名	診断	必須要件	解説
オペレーティングシステム(OS)	Windows 7 SP1	Windows 10/Windows 8.1/Wi...	必要な要件
アーキテクチャ(ビット数)	x64	x86/x64	必要な要件
物理メモリサイズ	1024MB	1024MB	必要な要件
システムドライブ(C:)容量	28.2GB	1GB	必要な要件
セットアップ先ドライブ(C:)容量	28.2GB	1GB	必要な要件

《画面説明》

【構成名】コンピュータの確認内容を表示

【診断】対象コンピュータの状況を表示

【必須要件】セットアップするうえでの、必須条件を表示

【解説】説明を表示

《内容》

(1)オペレーティングシステム(OS)

対象コンピュータの OS バージョンが必須要件の OS バージョンであるか確認します。

(要件を満たさない場合)OS の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

(2)アーキテクチャ(ビット数)

対象コンピュータのアーキテクチャが必須要件のアーキテクチャであるか確認します。

(要件を満たさない場合)アーキテクチャの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

(3)物理メモリサイズ

対象コンピュータの物理メモリサイズが必須要件の物理メモリサイズであるか確認します。

(要件を満たさない場合)物理メモリサイズの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

(4)システムドライブの空容量

対象コンピュータのシステムドライブの空容量が必須要件の空容量以上であるか確認します。

(要件を満たさない場合)システムドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

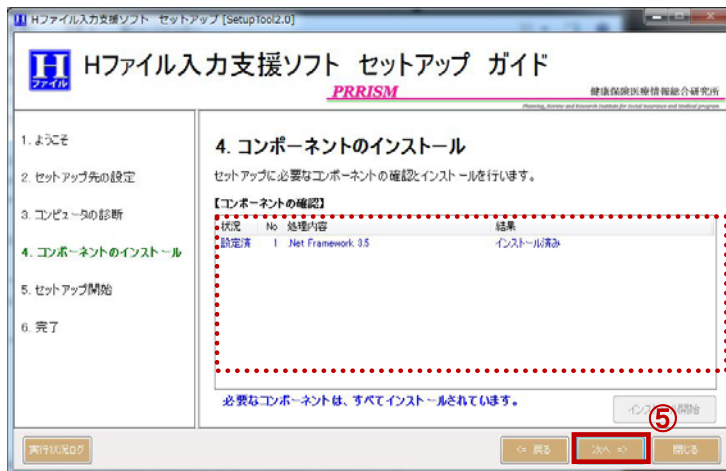
(5)セットアップ先ドライブの空容量

対象コンピュータのセットアップドライブの空容量が必須要件の空容量以上であるか確認します。

(要件を満たさない場合)セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



⑤ コンポーネントのインストール画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

【コンポーネントのインストールについて】

【コンポーネントの確認】			
状況	No	処理内容	結果
設定済	1	Net Framework 3.5	インストール済み

《画面説明》

【状況】 インストールされているかどうかを表示

【No】 処理番号を表示

【処理内容】 対象のコンポーネント名を表示

【結果】 結果表示

《内容》

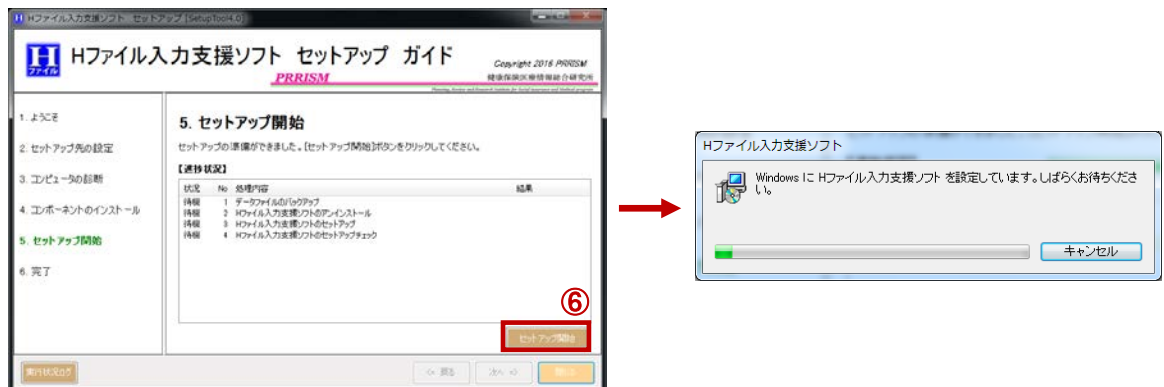
(1).Net Framework3.5

対象コンピュータに.Net Framework3.5 がインストールされているかを確認します。

※コンポーネントがすべてインストールされていない場合は、別途インストールを行ってください。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



⑥ セットアップ開始画面が表示されたら、[セットアップ開始]ボタンをクリックします。

【セットアップ開始について】

状況	No	処理内容	結果
待機	1	データファイルのバックアップ	
待機	2	Hファイル入力支援ソフトのアンインストール	
待機	3	Hファイル入力支援ソフトのセットアップ	
待機	4	Hファイル入力支援ソフトのセットアップチェック	

《画面説明》

【状況】 進捗状況を表示

【No】 処理番号を表示

【処理内容】 セットアップ内容を表示

【結果】 結果表示

《内容》

(1).データファイルのバックアップ

バージョンアップ時にインストール先フォルダに DB のバックアップを作成します。

(ファイル名 : H 入力支援_VersionupBackup.sdf)

(2).H ファイル入力支援ソフトのアンインストール

バージョンアップ時に必要な場合にアンインストール処理を実行します。

(3).H ファイル入力支援ソフトのセットアップ

H ファイル入力支援ソフトのインストール処理を実行します。

(4).H ファイル入力支援ソフトのセットアップチェック

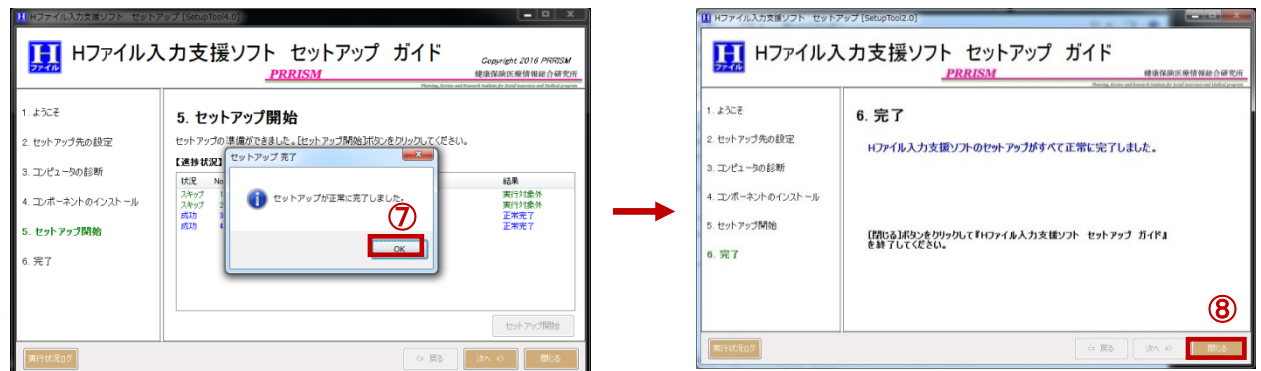
インストール処理が正しく完了したか確認します。

《エラーが発生した場合》

後述する「■セットアップ実行時にエラーが発生した場合」をご参照ください。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



⑦ セットアップ完了メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

⑧ すべての処理が完了となります。[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、Hファイル入力支援ソフト セットアップマニュアルの手順は終了となります。

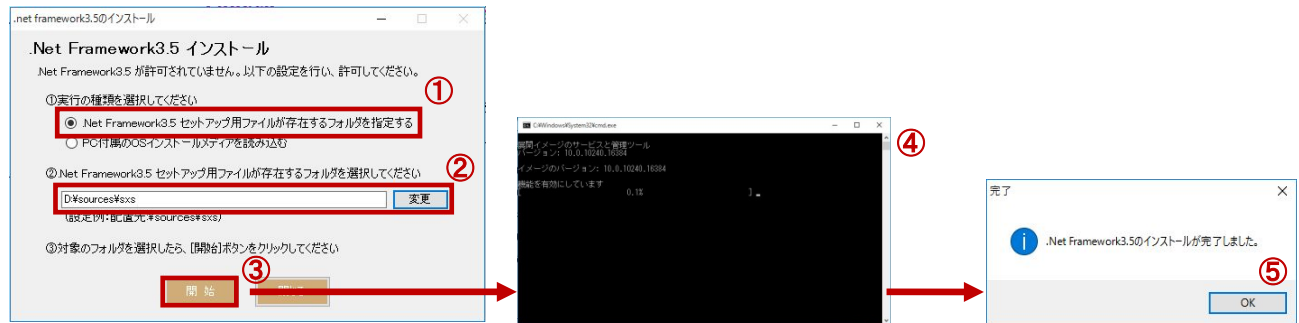
初回起動後のパスワード発行は、「2. Hファイル入力支援ソフトの初回起動を行う」および「3. パスワード問い合わせ方法」をご参照ください。

■ .Net Framework3.5 をインストールする

【注意】

.Net Framework3.5 のインストールが完了したら、元の手順に戻りセットアップを行ってください。

【フォルダを指定する場合】



- ① 「.Net Framework3.5 セットアップ用ファイルが存在するフォルダを指定する」を選択します。
- ② [変更]ボタンより、対象のフォルダを選択します。
- ③ [開始]ボタンをクリックします。
- ④ 処理が始まりますので、完了するまで待機します。
- ⑤ 完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

【メディアドライブを指定する場合】

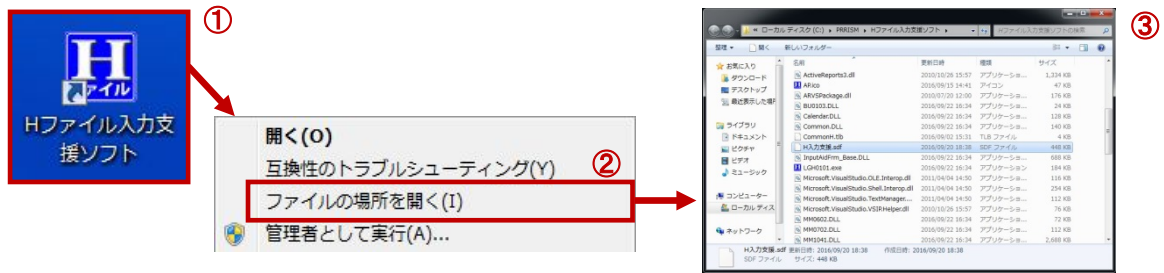


- ① 「PC 付属の OS インストールメディアを読み込む」を選択します。
- ② OS インストールメディアを挿入した、ドライブをプルダウンより選択します。
- ③ [開始]ボタンをクリックします。
- ④ 処理が始まりますので、完了するまで待機します。
- ⑤ 完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

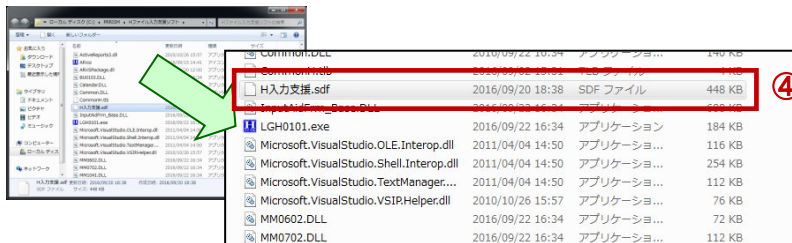
■データファイルのバックアップを行う

【注意】

バージョンアップを行う際は、必ず下記の手順にてデータファイルのバックアップを行ってください。
データファイルのバックアップを行っていれば、不測の事態により登録データが消失してしまった場合に、バックアップ時点までの登録状態に戻すことができます。
また、定期的に以下の手順にてバックアップファイルを作成することを推奨します。



- ① デスクトップの「H ファイル入力支援ソフト」ショートカットを右クリックします。
- ② メニューが表示されたら「ファイルの場所を開く」をクリックします。
- ③ Hファイル入力支援ソフトのインストール先フォルダが開きます。



- ④ インストール先フォルダ内の「H 入力支援.sdf」をコピーします。



例として、「H ファイル入力支援ソフトバックアップフォルダ」内に「日時フォルダ」を作成し、バックアップのコピーファイルを作成しています。

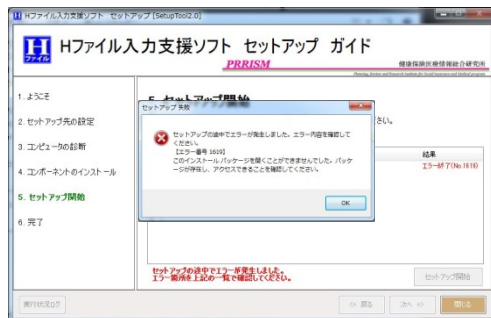
- ⑤ 任意のバックアップ先を開きます。
- ⑥ コピーした「H 入力支援.sdf」を貼り付けます。

■セットアップ実行時にエラーが発生した場合

セットアップ中にエラーが発生して、問い合わせの際には、
「問い合わせ内容入力票」をご記入して画面キャプチャー、ログファイルと合わせてお送りください。

《エラー画面例》

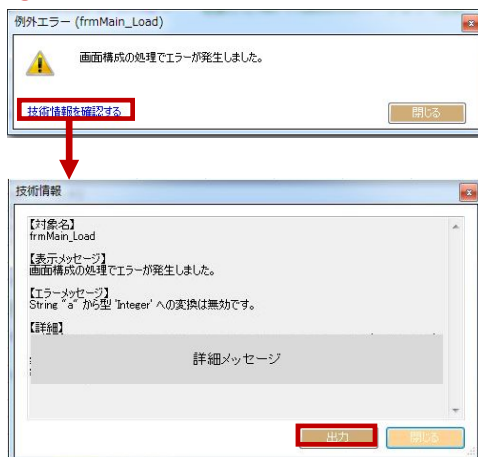
①



各処理の途中でエラーが発生した場合、左画面①のようなエラーが表示されます。

エラー時のお問い合わせの際には、画面キャプチャーをお送りください。

②



また、左画面②のようなエラーが表示される場合は、下記の手順で、ログファイルを出力したうえで、画面キャプチャーと合わせてお送りください。

《ログファイルの出力》

「技術情報を確認する」のリンクをクリックします。
技術情報画面が表示されたら、[出力]ボタンをクリックし、任意の場所にログファイルを出力してください。

なお、各ログファイルには、個人情報はありません。

2. Hファイル入力支援ソフトの初回起動を行う

(1) Hファイル入力支援ソフトの起動

- ① デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。



- ② メニューが表示されたら「管理者として実行」をクリックします。

- ③ アイコンクリック後にHファイル入力支援ソフトが起動します。

(2) パスワードの発行(初回起動時のみ)

初回起動時にパスワードが必要になります。

パスワードの問い合わせ方法は次項「3. パスワードの問い合わせ方法」の通りです。

次ページ「3. パスワード
問い合わせ方法」に則っ
てパスワードの発行を行
ってください。

3. パスワード問い合わせ方法

メールアドレス: hfilessoft@prism.com

時間: 当日(土日、祝日及び年末年始を除く) 16 時 30 分までの受信分は原則当日中に返信します。

期間: 平成 30 年 4 月 2 日～

- ※ 件名を「施設コード_H ファイルソフトのパスワード取得」としてください。(施設コードは、平成 29 年度調査で使用している貴院の 9 桁の施設コードとなります)。施設コードが件名に正しくついていない場合はパスワードの発行が遅れることがありますことご了承ください。
- ※ 平成 30 年度「DPC 導入の影響評価に係る調査」に参加する医療機関のみにパスワードを発行します。メール本文に「病院名」、「施設コード」をご記載いただき、メールにてお知らせください。
- ※ 問い合わせは DPC 調査事務局に登録しているメールアドレスを使用して連絡担当者が必ず行い、病院名、施設コードを必ずメールに記載してください。無記名の場合は発行致しかねます。
- ※ パスワードは平日 16:30 まで受付け分は原則当日中に返信します。(リリース直後は大変混み合いますので、パスワードの発行のご連絡までタイムラグが発生する可能性があります)
- ※ 電話でのお問い合わせは受け付けません。H ファイル入力支援ソフトに関する質問は dpc@prism.com までご連絡ください(hfilessoft@prism.com はパスワード発行専用のアドレスとなります)。

なお、Hファイル入力支援ソフトは、1 医療機関につき 1 パスワードの発行となります。同医療機関であれば、複数端末に当該ソフトをインストール頂いたとしても同一パスワードで H ファイル入力支援ソフトの初回起動が可能です。